



2019年10月31日

2019年12月期 第3四半期 決算レポート

ハイライト

- 1-9月の為替一定調整後営業利益は、海外たばこ事業が牽引し、前年同期比 3.0%増。財務報告ベースでは、主に同事業においてネガティブな為替影響を受けたことにより 11.6%減
- 営業利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、調整後営業利益の減少や、海外たばこ事業において事業運営体制の変革に係る施策関連費用を計上したこと等により減益
- 通期の為替一定調整後営業利益は前年度比 1.6%増となる見通し。配当予想は変更なし

事業別の主なトピック

- **海外たばこ事業**
 - 1-9月の為替一定調整後営業利益は、市場シェア伸長及びプライシング効果により 10.2%増。一方、円ベースではネガティブな為替影響を受け、12.0%減
 - 総販売数量は、買収効果により 5.8%増。買収効果等を除いても、総需要の減少影響があるなか、各国市場における GFB 販売数量の増加及びシェア伸長により、0.4%減と堅調
 - RRP 展開も加速し、2019年第3四半期時点で、計17の地域で Logic Compact を展開
 - 通期の為替一定調整後営業利益は、前年度比 10.2%増となる見込み
- **国内たばこ事業**
 - 1-9月の調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響により 4.3%減
 - Ploom 全3製品の全国展開も完了し RRP カテゴリー内の JT シェアは9%程度と対前年同期で増加
 - 低価格帯において新商品を投入するなど、お客様ニーズの変化に迅速に対応した製品展開を実施
 - 通期見込の調整後営業利益は前年度比 7.2%減に下方修正

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“2019年第3四半期実績は、不利な為替影響や国内における競争激化の影響を引き続き受け、財務報告ベースでは減益となった。一方、為替一定ベースの調整後営業利益は、主に海外たばこ市場におけるシェア伸長やプライシング効果により、対前年で成長した。また、国内たばこ事業においては、RRP・紙巻たばこ両方のポートフォリオ強化や営業体制の進化にスピード感をもって取り組んでいる。

事業を取り巻く環境やお客様のニーズが変化する中、我々は仕事のやり方や企業文化を見つめ直すことで、自らを変革していく必要がある。自らの事業活動の継続的な改善を通じて、よりスピーディー、機動的かつ大胆に活動していくことを推進している。これらを実行していくことにより、持続的な事業成長の達成に繋げていく。”

投資家説明会（電話会議）

投資家説明会（電話会議）は、2019年11月1日、東京時間 16時30分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧いただけます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

(このページは空白です)

2019年度 第3四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2018年 7-9月	2019年 7-9月	増減率	2018年 1-9月	2019年 1-9月	増減率
売上収益	6,005	5,752	-4.2%	16,758	16,337	-2.5%
調整後営業利益	1,932	1,637	-15.2%	5,110	4,515	-11.6%
営業利益	1,748	1,293	-26.0%	4,771	4,406	-7.6%
四半期利益（親会社所有者帰属）	1,166	897	-23.1%	3,327	3,161	-5.0%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,932	1,897	-1.8%	5,110	5,262	+3.0%

2019年 7-9月

売上収益

国内たばこ事業・医薬事業・加工食品事業での減収により、前年同期比 4.2%減収の 5,752 億円となりました。国内たばこ事業の自社たばこ製品売上収益においては、19 年 10 月に実施された定価改定前の駆け込み需要の規模が、前年同期の駆け込み需要と比較して大幅に縮小していることから、10%超の減収となっております。なお、海外たばこ事業においては、堅調なパフォーマンスがネガティブな為替影響に一部相殺され、前年同期から微増となっております。

調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益は、海外たばこ事業及び加工食品事業での増加はあったものの、国内たばこ事業及び医薬事業での減少により、前年同期比 1.8%減の 1,897 億円となりました。財務報告ベースでは、主に海外たばこ事業においてネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比 15.2%減の 1,637 億円となりました。

営業利益

調整後営業利益の減少に加え、海外たばこ事業において事業運営体制の変革にかかる施策関連費用 185 億円を計上したことを主因に、前年同期比 26.0%減益の 1,293 億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益

営業利益の減益を、為替差損の減少に伴う金融損益の改善が一部相殺し、前年同期比 23.1%減益の 897 億円となりました。

2019年 1-9月

売上収益

国内外たばこ事業・医薬事業・加工食品事業での減収により、前年同期比 2.5%減収の 1 兆 6,337 億円となりました。海外たばこ事業においては堅調なパフォーマンスはあったものの、ネガティブな為替影響を上回るには至りませんでした。

調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益は、国内たばこ事業及び医薬事業で減少となったものの、海外たばこ事業及び加工食品事業での増加により、前年同期比で 3.0%増の 5,262 億円となりました。一方財務報告ベースでは、主に海外たばこ事業においてネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比で 11.6%減となる 4,515 億円となりました。

- 営業利益**
 医薬事業において、抗 HIV 薬 6 品の国内における独占的ライセンス契約解消にかかる一時金収入はあるものの、調整後営業利益の減少、不動産売却益の減少及び買収にかかる商標権償却費の増加等に加え、海外たばこ事業において事業運営体制の変革にかかる施策関連費用を計上したことにより、前年同期比 7.6%減益の 4,406 億円となりました。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益**
 一時的な要因もあり税負担率が低下したことが、営業利益の減益及び金融損益の悪化を一部相殺し、前年同期比 5.0%減益の 3,161 億円となりました。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2018年 7-9月	2019年 7-9月	増減率	2018年 1-9月	2019年 1-9月	増減率
総販売数量	1,145	1,161	+1.4%	3,201	3,386	+5.8%
GFB 販売数量	706	739	+4.6%	2,013	2,102	+4.4%
自社たばこ製品売上収益	3,331	3,341	+0.3%	9,532	9,416	-1.2%
調整後営業利益	1,226	1,111	-9.4%	3,369	2,965	-12.0%

参考：ドルベース（百万ドル）

自社たばこ製品売上収益	2,990	3,112	+4.1% (+9.9%)*	8,695	8,632	-0.7% (+8.9%)*
調整後営業利益	1,100	1,034	-5.9% (+11.8%)*	3,071	2,719	-11.5% (+10.2%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2019年7-9月

- 販売数量及び市場シェア**
 総販売数量は、主にバングラデシュとロシアにおける買収効果により前年同期比 1.4%増となりました。買収効果及びネガティブに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、多くの市場で総需要が減少する中でも、数量パフォーマンスが底堅く推移した結果、前年同期比 1.0%減に留まりました。3 か月平均市場シェアについてはカナダ・チェコ・フランス・ドイツ・イラン・イタリア・カザフスタン・マレーシア・モロッコ・ポーランド・サウジアラビア・スペイン・台湾・英国といった市場で伸長を確認しています。GFB 販売数量は、ウinston（+4.4%）・キャメル（+5.2%）・LD（+8.3%）の力強いパフォーマンスにより、前年同期比 4.6%増となりました。
- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
 自社たばこ製品売上収益は、全てのクラスターで底堅く発現した単価上昇効果及び買収に伴う数量効果が、ネガティブな為替影響を上回った結果、0.3%の増収となりました。調整後営業利益については、ネガティブな為替影響に加え、買収を実施した市場や RRP での投資を継続したことにより、前年同期比 9.4%の減益となりました。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、ドイツ・イラン・フィリピン・ロシア・トルコ・英国をはじめとした市場での単価上昇効果+286 百万ドルに加え、数量効果+9 百万ドルにより 4.1%の増加、ネガティブな為替影響▲173 百万ドルを除いた場合では 9.9%増となりました。調整後営業利益については、ネガティブな数量効果▲10 百万ドル及び買収を実施した市場と RRP 分野における投資の継続はあるものの、堅調な単価上昇効果+270 百万ドルに

より為替一定ベースで 11.8%増となりました。一方財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響により 5.9%減となりました。

2019 年 1-9 月

● 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、バングラデシュ・ギリシャ・ロシアにおける買収効果により、前年同期比 5.8%増となりました。買収効果及びネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、多くの市場で総需要減少よりも底堅く推移した結果、前年同期比 0.4%減に留まりました。市場シェアは、ベルギー・カナダ・チェコ・フランス・ドイツ・イラン・イタリア・マレーシア・モロッコ・ポーランド・スペイン・台湾・英国等の様々な市場で継続的に伸長しました。GFB 販売数量は、ウinston (+3.0%)・キャメル (+6.3%)・メビウス (+0.4%)・LD (+8.5%) の力強いパフォーマンスにより、前年同期比 4.4%増となりました。

● RRP

海外たばこ事業における RRP カテゴリーでの事業展開は、世界の RRP 税抜総売上高の中で現在最も大きな割合を占める E-Vapor カテゴリーに引き続きフォーカスしています。Logic Compact の展開地域は継続して拡大しており、新規でチェコ・ドイツ・イスラエル・ニュージーランドで販売を開始するなど、9 月末までに展開市場数を 17 に拡大しました。英国においては、Logic LQD デバイス用のリキッドとして Epiq をバリュー価格帯で発売しました。現時点で Logic ブランド製品の展開市場数は 19 となっており、主要な市場としてカナダ・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・英国・米国にて展開しています。

● 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果が発現したものの、ネガティブな為替影響を上回るには至らず、前年同期比 1.2%の減収となりました。調整後営業利益については、買収を実施した市場や RRP での投資を継続するとともに、ネガティブな為替影響も受けたことから、前年同期比 12.0%の減益となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、カナダ・ドイツ・イラン・フィリピン・トルコ・ウクライナ・英国等における単価上昇効果+595 百万ドル、及び数量効果+182 百万ドルにより前年同期比 8.9%増となりました。ネガティブな為替影響▲840 百万ドルを含めた財務報告ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、0.7%の減少となっています。為替一定ベースの調整後営業利益は、買収を実施した市場と RRP での投資を実施したものの、単価上昇効果+559 百万ドル、及び数量効果 72 百万ドルが牽引し、前年同期比 10.2%増となりました。財務報告ドルベースの調整後営業利益は、ネガティブな為替影響により前年同期比 11.5%減少しました。

海外たばこ事業 クラスター別 四半期実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2018 年 7-9 月	2019 年 7-9 月	増減率
総販売数量	167	176	+5.5%
GFB 販売数量	134	144	+7.6%
自社たばこ製品売上収益	523	540	+3.3% (+7.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

● 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、複数市場でのシェア伸長とポジティブな流通在庫調整影響により、前年同期比でそれぞれ 5.5%、7.6%の増加となりました。流通在庫調整を除くと、総販売数量は前年同期比 2.6%の増加となりました。市場シェアは、ベルギー・フランス・ギリシャ・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は数量効果+28百万ドル及び主にフランスで発現した単価上昇効果+12百万ドルにより3.3%増加しました。ネガティブな為替影響▲22百万ドルを除いた場合は7.5%の増加となっています。

- **市場別実績**

フランスにおけるGFB販売数量は、主にキャメルの継続的なシェア伸長に牽引され、前年同期比1.4%の増加となりました。総販売数量及びFine cutの販売数量は、総需要減少によりそれぞれ前年同期比0.3%、1.7%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は単価上昇効果により増加しました。市場シェアは、ウINSTONとキャメルが牽引し、前年同期比1.4パーセントポイント増の24.2%となりました。

イタリアにおける総販売数量及びGFB販売数量は、総需要の減少及びネガティブな流通在庫調整の影響により、それぞれ前年同期比3.0%、1.4%の減少となりました。流通在庫調整を除くと、総販売数量は市場シェアの伸長により0.8%の増加となりました。Fine cutの販売数量は主にキャメルとウINSTONが牽引し前年同期比26.8%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益はネガティブな数量効果により減少しました。市場シェアはウINSTONとベンソン・アンド・ヘッジスの伸長により前年同期比0.8パーセントポイント増加し24.4%となりました。

スペインにおける総販売数量、GFB販売数量及びFine cutの販売数量は、総需要の増加、シェアの伸長並びにポジティブな流通在庫調整の影響により、前年同期比でそれぞれ23.8%、27.0%、6.8%の増加となりました。流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は4.5%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量効果と単価上昇効果により増加しました。市場シェアはウINSTONとキャメルの伸長により、前年同期比0.8パーセントポイント増加の25.3%となりました。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2018年 7-9月	2019年 7-9月	増減率
総販売数量	141	149	+5.6%
GFB販売数量	65	77	+19.0%
自社たばこ製品売上収益	557	585	+5.1% (+10.6%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及びGFB販売数量は、チェコ・ドイツ・ハンガリー・ポーランド等での増加によりそれぞれ前年同期比5.6%、19.0%の増加となりました。市場シェアは、チェコ・ドイツ・ハンガリー・ポーランド・英国で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、主にドイツ・ポーランド・英国で発現した単価上昇効果+36百万ドル、並びに数量効果+23百万ドルにより、前年同期比5.1%増加しました。ネガティブな為替影響▲31百万ドルを除いた場合は10.6%増となりました。

- **市場別実績**

ドイツにおける総販売数量、GFB販売数量及びFine cutの販売数量は、市場シェアの伸長により前年同期比でそれぞれ5.6%、26.5%、8.2%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は数量効果及び単価上昇効果により増加しました。市場シェアはキャメルとウINSTONの伸長により、0.5パーセントポイント増加し8.3%となりました。

英国における総販売数量及び Fine cut の販売数量は、市場シェアの伸長により前年同期比でそれぞれ 0.2%、6.8%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は数量効果及び単価上昇効果により増加しました。市場シェアは、紙巻たばこにおけるベンソン・アンド・ヘッジス、並びに Fine cut におけるスターリングの伸長により、2.0 パーセントポイント増加の 43.0%となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2018 年 7-9 月	2019 年 7-9 月	増減率
総販売数量	382	357	-6.5%
GFB 販売数量	253	245	-3.4%
自社たばこ製品売上収益	792	796	+0.5% (+1.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- 販売数量及び市場シェア¹**
 総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少並びにネガティブな流通在庫調整の影響により、前年同期比でそれぞれ 6.5%、3.4%の減少となりました。買収効果並びに流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は 6.4%の減少となりました。市場シェアはカザフスタンとルーマニアで伸長しました。
- 自社たばこ製品売上収益**
 自社たばこ製品売上収益は多くの市場で発現した単価上昇効果+60 百万ドルがネガティブな数量効果▲49 百万ドルを上回り、前年同期比 0.5%増加しました。ネガティブな為替影響▲8 百万ドルを除いた場合は 1.5%増となりました。
- 市場別実績**
ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアの伸長により前年同期比でそれぞれ 6.1%、3.7%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量効果と単価上昇効果により増加しました。市場シェアはウィンストンとソプラニの伸長により、前年同期比 0.7 パーセントポイント増加の 27.9%に達しました。

ロシアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、7.9%減少したと推定される総需要²の影響、並びにネガティブな流通在庫調整の影響により、前年同期比でそれぞれ 8.9%、5.4%の減少となりました。18 年第 3 四半期に実施した買収の効果及び流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は 8.5%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果がネガティブな数量効果を上回るには至らず減少しました。GFB の市場シェアは LD の伸長により前年同期比 0.1 パーセントポイント増加し 25.0%となったものの、JTI 全体の市場のシェアはダウントレーディングの影響により 39.1%に減少しました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2018 年 7-9 月	2019 年 7-9 月	増減率
総販売数量	455	479	+5.3%
GFB 販売数量	254	273	+7.4%
自社たばこ製品売上収益	1,118	1,190	+6.5% (+16.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、バングラデシュにおける買収効果及びポジティブな流通在庫調整影響により、前年同期比 5.3%の増加となりました。買収効果と流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は、エチオピア・ギニア・イラン・モロッコ・ミャンマー・米国等での増加により、0.3%増となりました。GFB 販売数量は、ウinstonとLDの伸長により、前年同期比 7.4%増加しました。市場シェアは、アルジェリア・ブラジル・カナダ・イラン・ヨルダン・マレーシア・モロッコ・サウジアラビア・南アフリカ・韓国・スーダン・台湾・トルコ・米国等といった多くの市場で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果+177 百万ドル及び数量効果+7 百万ドルにより、前年同期比 6.5%増加しました。ネガティブな為替影響▲113 百万ドルを除いた場合は 16.5%増となりました。

- **市場別実績**

イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、継続的なシェア伸長とポジティブな流通在庫調整影響により、前年同期比でそれぞれ 29.4%、36.0%の増加となりました。流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は 28.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、堅調な数量効果並びに単価上昇効果により増加しました。市場シェアの伸長は継続し、前年同期比 3.5 パーセントポイント増加となる 58.9%に達しました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要減少の影響をポジティブな流通在庫調整の影響が一部相殺した結果、前年同期比でそれぞれ 0.1%、1.0%の減少となりました。流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は 2.9%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量効果並びに単価上昇効果がネガティブに作用した結果、減少しました。市場シェアは主に LD とウinstonの伸長により、前年同期比 3.0 パーセントポイント増加の 44.6%となりました。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、値上げを受けた総需要の減少とネガティブな流通在庫調整の影響を受け、前年同期比でそれぞれ 8.7%、8.4%の減少となりました。流通在庫調整を除いた場合、総販売数量は 8.1%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果が堅調に発現し増加しました。市場シェアは主にウinstonの伸長により、前年同期比 0.6 パーセントポイント増加し 28.4%となりました。

¹出典：IRI、Logista、Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り対象は紙巻たばこ、及びスヌースを除く Fine cut で、2019 年 9 月時点の 12 か月移動平均ベース。ブラジル・ハンガリー・スペインに関するデータは 2019 年 8 月時点の 12 か月移動平均ベース。12 か月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 か月移動平均ベース。

²出典：JTI 内部データ。紙巻たばこを対象とする 2019 年 7-9 月期の対前年同一期間比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2018年 7-9月	2019年 7-9月	増減率	2018年 1-9月	2019年 1-9月	増減率
紙巻総需要 ³	383	334	-12.9%	1,043	946	-9.3%
紙巻販売数量	238	201	-15.7%	642	574	-10.5%
自社たばこ製品売上収益	1,722	1,535	-10.9%	4,444	4,358	-1.9%
調整後営業利益	693	562	-18.9%	1,728	1,654	-4.3%

2019年7-9月

紙巻販売数量

紙巻総需要³は、18年10月に実施した定価改定の影響、RRP市場の拡大及び趨勢減に加え、19年10月の値上げに伴う駆け込み需要の規模が前年同期よりも限定的であったことにより、12.9%減となりました。19年10月の消費税増税時は、18年10月のたばこ税増税時よりも値上げ幅が小さいことから、駆け込み需要の規模も前年同期と比べて小さくなっています。

当社の紙巻シェア³については、18年10月のたばこ税増税時に発生した駆け込み需要が、MEVIUSやSeven Starsなど当社の売れ筋銘柄に特に強く発生していたこととの対比を背景に、前年同期と比べ2.0パーセントポイント減の60.1%となりました。この結果、当社の紙巻販売数量は前年同期比15.7%減となりました。

RRP販売実績

国内たばこ市場におけるRRPの市場占有率³は22%台半ば（出荷ベース）と推計しています。

当社のRRP販売数量は、19年中に発売・全国展開を行ったPloom TECH+及びPloom Sによる数量増はあるものの、Ploom TECHの販売数量が減少したことから、紙巻たばこ換算ベースで前年同期と比較して1億本減少の9億本となりました。実需ベースの当社のRRPカテゴリ内シェアは10%程度と推計しております。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻単価上昇効果+101億円があったものの、紙巻販売数量の減少影響▲221億円及びRRP関連売上収益の減少により、前年同期比10.9%の減収となりました。なお、RRP関連売上収益はRRP販売数量の減少に加え、Ploom TECHのデバイス等の売上の減少もあり、前年同期と比べ71億円減少し178億円となっております。調整後営業利益は、紙巻単価上昇効果+101億円があるものの、紙巻販売数量の減少影響▲182億円等により、前年同期比18.9%の減益となりました。

2019年1-9月

紙巻販売数量

紙巻総需要³は、7-9月期と同様の要因により、前年同期比9.3%減となりました。

当社の紙巻シェア³は、キャメルがダウントレーディングを捉え伸長しているものの、低価格帯での競争激化等の影響を受け、前年同期と比べ0.8パーセントポイント減の60.7%となりました。この結果、当社の紙巻販売数量も前年同期比10.5%減となりました。

RRP販売実績

国内たばこ市場におけるRRPの市場占有率³は22%台半ば（出荷ベース）と推計しています。

当社のRRP販売数量は紙巻たばこ換算ベースで前年同期と比較して5億本増加の23億本となりました。実需ベースの当社のRRPカテゴリ内シェア³は9%程度と推計しています。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻単価上昇効果+281億円及びRRP関連売上収益の増加があったものの、紙巻販売数量の減少影響▲400億円により、前年同期比1.9%の減収となりました。なお、RRP関連売上収

益は前年同期と比べ 22 億円増加し 482 億円となっております。調整後営業利益は、紙巻単価上昇効果+281 億円があるものの、紙巻販売数量の減少影響▲330 億円等により、前年同期比 4.3%の減益となりました。

³ 出典：JT 推計。当社公表の紙巻総需要及び紙巻シェアには、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2018年 7-9月	2019年 7-9月	増減率	2018年 1-9月	2019年 1-9月	増減率
売上収益	286	215	-24.7%	818	633	-22.6%
調整後営業利益	79	21	-73.4%	193	78	-59.4%

2019年7-9月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、抗 HIV 薬 6 品の国内ライセンス契約解消の影響及び海外ロイヤリティ収入の減少等により、前年同期比 24.7%の減収となりました。

調整後営業利益については、売上収益の減少により、前年同期比 73.4%の減益となりました。

2019年1-9月

• 売上収益及び調整後営業利益

7-9 月期と同様の要因により、前年同期比で売上収益は 22.6%の減収、調整後営業利益については 59.4%の減益となりました。

加工食品事業

(億円)	2018年 7-9月	2019年 7-9月	増減率	2018年 1-9月	2019年 1-9月	増減率
売上収益	401	393	-2.0%	1,172	1,148	-2.1%
調整後営業利益	6	13	+104.9%	21	29	+40.0%

2019年7-9月

• 売上収益及び調整後営業利益

加工食品事業においては収益性の改善に継続的に取り組んでおります。売上収益については、注力しているステップ商品の販売は伸長しましたが、主に利益率が低い商品の販売が減少したため、前年同期比 2.0%の減収となりました。

調整後営業利益については、売上収益の減少、原材料費及び物流費の上昇があったものの、価格改定効果に加え、商品構成の改善及びコスト低減といった収益性改善の取り組みもあり、前年同期と比べて 7 億円の増益となりました。

2019年1-9月

• 売上収益及び調整後営業利益

7-9 月期と同様の要因により、前年同期比で売上収益は 2.1%の減収、調整後営業利益については 8 億円の増益となりました。

全社見込

(億円)	2019 前回見込	2019 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	21,700	21,700	-	-2.1%
調整後営業利益	5,230	5,180	-50	-13.0%
営業利益	5,180	5,050	-130	-10.6%
当期利益（親会社所有者帰属）	3,600	3,400	-200	-11.8%
為替一定ベース 調整後営業利益	6,100	6,050	-50	+1.6%

- **売上収益**

国内たばこ事業及び加工食品事業における下方修正はあるものの、海外たばこ事業及び医薬事業における上方修正がこれを相殺し、前回見込から変更なく前年度比 2.1%の減収となる見通しです。

- **調整後営業利益**

医薬事業における上方修正はあるものの、国内たばこ事業の下方修正により、為替一定ベース・財務報告ベースとも前回見込から 50 億円下方修正し、前年度比でそれぞれ 1.6%の増加、13.0%の減少となる見通しです。

- **営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**

営業利益については、不動産売却益の上振れを見込むものの、調整後営業利益の下方修正に加え、海外たばこ事業において事業運営体制の変革にかかる施策関連費用を計上したことを主因に、前回見込を 130 億円下方修正し、前年度比 10.6%の減益を見込んでいます。

当期利益については、営業利益の下方修正に加え、見積実効税率の一時的な上昇に伴い、前回見込を 200 億円下方修正し、前年度比 11.8%の減益を見込んでいます。

事業別見込

海外たばこ事業

(億円)	2019 前回見込	2019 今回見込	対前回見込	対前年実績
総販売数量	約 5%の増加	約 4%の増加		
GFB 販売数量	3%台半ばの増加	3%台半ばの増加		
自社たばこ製品売上収益	12,400	12,500	+100	-0.1%
調整後営業利益	3,380	3,380	-	-12.1%
参考：ドルベース（百万ドル）				
自社たばこ製品売上収益	11,400	11,430	+30	+0.9% (+8.7%)*
調整後営業利益	3,100	3,100	-	-11.3% (+10.2%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量**

複数市場で堅調な市場シェアパフォーマンスが確認できているものの、一部の新興市場の総販売数量が想定を下回って推移したことを受けて、総販売数量の前提を前年度比約 4%の増加に引き下げました。GFB 販売数量の前提については、前回見通しから変更はありません。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

円ベースの自社たばこ製品売上収益は前回見込から 100 億円上方修正し、前年度比 0.1%の減収となる見通しです。調整後営業利益につきましては、前回見込を据え置き、前年度比 12.1%の減益を見込んでいます。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、総需要よりも底堅く推移しているオーガニックの数量パフォーマンス及び堅調に発現している単価上昇効果により 70 百万ドル上方修正し、前年度比 8.7%の増加、財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、30 百万ドル上方修正し、前年度比 0.9%の増加となる見通しです。調整後営業利益については、トップラインの上方修正により創出される利益を事業に再投資することから、為替一定ベース、財務報告ベースともに前回見通しを据え置きます。

国内たばこ事業

(億円)	2019 前回見込	2019 今回見込	対前回見込	対前年実績
紙巻総需要 ⁴	6%台後半の減少	6%台前半の減少		
紙巻販売数量	約 8%の減少	7%台半ばの減少		
自社たばこ製品売上収益	5,800	5,700	-100	-2.1%
調整後営業利益	2,000	1,940	-60	-7.2%

- **販売数量**

紙巻総需要⁴は、趨勢減の影響が想定を下回って推移したことを背景に、6%台後半の減少から6%台前半の減少に上方修正いたします。一方 RRP の市場占有率⁴については、第3四半期の実績に鑑み、前回見通しからの変更はなく約23%の構成比（出荷ベース）と見立てています。国内市場のたばこ総需要⁴見通しについても、約4%の減少から変更はありません。

当社の紙巻販売数量前提につきましては、紙巻総需要の減少率緩和を踏まえ、約8%の減少から7%台半ばの減少に上方修正いたします。RRP 販売数量前提につきましては、特に Ploom S の全国拡販後の販売動向に鑑み、40億本相当から33億本相当へ下方修正いたします。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、RRP 販売数量前提の見直しを背景に100億円下方修正し、前年度比2.1%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益についてもトップラインの下方修正に伴い60億円下方修正し、前年度比7.2%の減益を見込んでいます。

⁴ 出典：JT 推計。当社公表の紙巻総需要及び紙巻シェアには、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2019 前回見込	2019 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	840	860	+20	-24.6%
調整後営業利益	100	120	+20	-57.8%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は、抗 HIV 薬 6 品の国内ライセンス契約解消の影響等により前年度比で引き続き減収を見込むものの、当社連結子会社の鳥居薬品において第 3 四半期の売上が計画を上回って推移したこと等により、20 億円上方修正いたしました。

調整後営業利益は、売上収益の上方修正等により 20 億円上方修正し、前年度比 57.8%の減益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2019 前回見込	2019 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	1,620	1,600	-20	-0.9%
調整後営業利益	50	50	-	+21.3%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は、第 3 四半期までの実績に鑑み、20 億円下方修正いたします。この結果、前年度比では減収となる見通しです。しかしながら、収益性の改善に向けた継続的な取り組みを行っていることから、調整後営業利益については当初見込からの変更はなく、前年度比 21.3%の増益を見込んでいます。

データシート

2019年 Q3実績 (累計)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率
売上収益	16,758	16,337	-421	-2.5%
営業利益	4,771	4,406	-365	-7.6%
調整後営業利益	5,110	4,515	-595	-11.6%
税引前利益	4,494	4,116	-378	-8.4%
四半期利益	3,349	3,288	-61	-1.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,327	3,161	-165	-5.0%
基本的EPS* (円)	185.73	177.83	-7.90	-4.3%

*基本的EPSは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(参考) 全社

(単位：億円)

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,110	5,262	+153	+3.0%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率
売上収益	16,758	16,337	-421	-2.5%
国内たばこ事業	4,724	4,664	-59	-1.3%
自社たばこ製品売上収益	4,444	4,358	-86	-1.9%
海外たばこ事業	9,994	9,847	-147	-1.5%
自社たばこ製品売上収益	9,532	9,416	-116	-1.2%
医薬事業	818	633	-184	-22.6%
加工食品事業	1,172	1,148	-24	-2.1%
その他	51	46	-6	-10.8%
全社 営業利益	4,771	4,406	-365	-7.6%
国内たばこ事業	1,603	1,532	-71	-4.4%
海外たばこ事業	3,048	2,397	-651	-21.4%
医薬事業	193	648	+455	+236.1%
加工食品事業	9	31	+22	+239.5%
その他/消去	-82	-202	-120	-
調整合計	-339	-109	+230	-
国内たばこ事業	-125	-122	+3	-
海外たばこ事業	-321	-568	-247	-
医薬事業	-	570	+570	-
加工食品事業	-12	2	+13	-
その他/消去	118	9	-109	-92.6%
全社 調整後営業利益	5,110	4,515	-595	-11.6%
国内たばこ事業	1,728	1,654	-74	-4.3%
海外たばこ事業	3,369	2,965	-404	-12.0%
医薬事業	193	78	-115	-59.4%
加工食品事業	21	29	+8	+40.0%
その他/消去	-200	-210	-10	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	8,695	8,632	-63	-0.7%
為替一定自社たばこ製品売上収益	8,695	9,471	+777	+8.9%
調整後営業利益	3,071	2,719	-352	-11.5%
為替一定調整後営業利益	3,071	3,384	+313	+10.2%

2019年 Q3実績 (累計)

3. 減価償却費及び償却費

(単位：億円)

	2018 Q3	2019 Q3*	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,163	1,246	+83
国内たばこ事業	403	416	+13
海外たばこ事業	656	723	+66
医薬事業	38	42	+3
加工食品事業	49	50	+1
その他/消去	16	15	-0

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2018年12月末	2019年9月末	増減
資産合計	54,614	52,679	-1,935
資本合計	27,004	26,325	-680
親会社の所有者に帰属する持分	26,306	25,522	-784
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	1,468.44	1,438.82	-29.62

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2018年12月末	2019年9月末	増減
手元流動性	3,087	2,096	-990
有利子負債	9,876	10,616	+740

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2018 Q3	2019 Q3	増減
営業キャッシュフロー	4,276	2,578	-1,698
投資キャッシュフロー	-2,339	-1,248	+1,091
財務キャッシュフロー	-1,768	-2,234	-466
現金及び現金同等物の期首残高	2,855	2,821	-34
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	-191	-100	+91
現金及び現金同等物の期末残高	2,833	1,817	-1,016
FCF	2,148	1,347	-801

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2018 Q3	2019 Q3	増減
資本的支出	1,019	880	-139
国内たばこ事業	370	256	-114
海外たばこ事業	457	501	+44
医薬事業	49	49	-1
加工食品事業	107	38	-69
その他/消去	36	37	+1

8. 為替

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率
USドル/円	109.60	109.12	-0.48	0.4%高
USドル/RUB	61.41	65.08	+3.67	5.6%安
USドル/GBP	0.74	0.79	+0.05	5.8%安
USドル/EUR	0.84	0.89	+0.05	5.9%安
USドル/CHF	0.97	1.00	+0.02	2.3%安
USドル/TWD	29.90	31.03	+1.13	3.6%安
USドル/TRY	4.60	5.63	+1.03	18.4%安
USドル/IRR	53,867	102,297	+48,430	47.3%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

2019年度 修正見込 (2019/10/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,160	21,700	-460	-2.1%
営業利益	5,650	5,050	-600	-10.6%
調整後営業利益	5,955	5,180	-775	-13.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,857	3,400	-457	-11.8%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,955	6,050	+95	+1.6%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	215.31	191.36	-23.95	-11.1%
1株当たり配当金	150	154	+4	+2.7%
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益ベース)	14.3%	13.1%	-1.2%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,160	21,700	-460	-2.1%
国内たばこ事業	6,214	6,100	-114	-1.8%
自社たばこ製品売上収益	5,824	5,700	-124	-2.1%
海外たばこ事業	13,123	13,100	-23	-0.2%
自社たばこ製品売上収益	12,507	12,500	-7	-0.1%
医薬事業	1,140	860	-280	-24.6%
加工食品事業	1,614	1,600	-14	-0.9%
その他	68	60	-8	-12.0%
全社 営業利益	5,650	5,050	-600	-10.6%
国内たばこ事業	1,925	1,780	-145	-7.5%
海外たばこ事業	3,395	2,730	-665	-19.6%
医薬事業	263	680	+417	+158.6%
加工食品事業	29	50	+21	+71.3%
その他/消去	38	-200	-238	-
全社 調整後営業利益	5,955	5,180	-775	-13.0%
国内たばこ事業	2,090	1,940	-150	-7.2%
海外たばこ事業	3,845	3,380	-465	-12.1%
医薬事業	284	120	-164	-57.8%
加工食品事業	41	50	+9	+21.3%
その他/消去	-306	-300	+6	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,330	11,430	+100	+0.9%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,330	12,320	+990	+8.7%
調整後営業利益	3,493	3,100	-393	-11.3%
為替一定調整後営業利益	3,493	3,850	+357	+10.2%

2019年度 修正見込 (2019/10/31公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減
FCF	1,056	3,700	+2,644

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減
資本的支出	1,598	1,380	-218
国内たばこ事業	554	400	-154
海外たばこ事業	757	770	+13
医薬事業	113	60	-53
加工食品事業	127	70	-57
その他/消去	46	80	+34

6. 修正業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業
 - ・ 2019年の国内たばこ総需要（自社推計）：対前年で約4%の減少（2018年の国内たばこ総需要は推計1,682億本）
 - ・ 2019年の国内紙巻たばこ総需要（自社推計）：対前年で6%台前半の減少（2018年の国内紙巻たばこ総需要は1,336億本）
 - ・ 2019年のJT紙巻販売数量：対前年で7%台半ばの減少（2018年のJT紙巻販売数量は820億本）
 - ・ RRP市場占有率（自社推計,出荷ベース）：2019年は通年で約23%（2018年は通年で約21%）
 - ・ 2019年のJT RRP販売数量：紙巻換算で33億本程度
- 海外たばこ事業
 - ・ 2019年の総販売数量：対前年で約4%の増加（2018年の総販売数量は4,276億本）
 - ・ 2019年のGFB販売数量：対前年で3%台半ばの増加（2018年のGFB販売数量は2,664億本）

<為替前提レート>

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	110.44	108.84	-1.60	1.4%高
USドル/RUB	62.68	65.10	+2.42	3.7%安
USドル/GBP	0.75	0.79	+0.04	5.1%安
USドル/EUR	0.85	0.90	+0.05	5.9%安
USドル/CHF	0.98	0.99	+0.01	1.2%安
USドル/TWD	30.14	31.00	+0.86	2.8%安
USドル/TRY	4.82	5.70	+0.88	15.4%安
USドル/IRR	61,649	105,000	+43,351	41.3%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

2019年度 修正見込 vs 前回見込
(2019/10/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,700	21,700	-	-
営業利益	5,180	5,050	-130	-2.5%
調整後営業利益	5,230	5,180	-50	-1.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,600	3,400	-200	-5.6%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	6,100	6,050	-50	-0.8%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	202.62	191.36	-11.26	-5.6%
1株当たり配当金	154	154	-	-
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益ベース)	13.7%	13.1%	-0.6%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,700	21,700	-	-
国内たばこ事業	6,200	6,100	-100	-1.6%
自社たばこ製品売上収益	5,800	5,700	-100	-1.7%
海外たばこ事業	13,000	13,100	+100	+0.8%
自社たばこ製品売上収益	12,400	12,500	+100	+0.8%
医薬事業	840	860	+20	+2.4%
加工食品事業	1,620	1,600	-20	-1.2%
その他	60	60	-	-
全社 営業利益	5,180	5,050	-130	-2.5%
国内たばこ事業	1,840	1,780	-60	-3.3%
海外たばこ事業	2,870	2,730	-140	-4.9%
医薬事業	670	680	+10	+1.5%
加工食品事業	50	50	-	-
その他/消去	-260	-200	+60	-
全社 調整後営業利益	5,230	5,180	-50	-1.0%
国内たばこ事業	2,000	1,940	-60	-3.0%
海外たばこ事業	3,380	3,380	-	-
医薬事業	100	120	+20	+20.0%
加工食品事業	50	50	-	-
その他/消去	-300	-300	-	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,400	11,430	+30	+0.3%
為替一定自社たばこ製品売上収益	12,250	12,320	+70	+0.6%
調整後営業利益	3,100	3,100	-	-
為替一定調整後営業利益	3,850	3,850	-	-

**2019年度 修正見込 vs 前回見込
(2019/10/31公表)**

4. FCF

(単位：億円)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減
FCF	3,600	3,700	+100

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減
資本的支出	1,450	1,380	-70
国内たばこ事業	470	400	-70
海外たばこ事業	800	770	-30
医薬事業	50	60	+10
加工食品事業	70	70	-
その他/消去	50	80	+30

6. 2019年度業績予想の主な前提条件の修正 (vs 2018年度実績)

国内たばこ事業	前回見込	修正見込
たばこ総需要*	約4%の減少	
紙巻総需要*	6%台後半の減少	→ 6%台前半の減少
RRP市場占有率*	約23%	
JT紙巻販売数量	約8%の減少	→ 7%台半ばの減少
JT RRP販売数量	40億本程度	→ 33億本程度

*JT推計、通年・出荷ベース

海外たばこ事業	前回見込	修正見込
総販売数量	約5%の増加	→ 約4%の増加
GFB販売数量	3%台半ばの増加	

<為替前提レート>

	2019年度 前回見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	109.00	108.84	-0.16	0.1%高
USドル/RUB	65.30	65.10	-0.20	0.3%高
USドル/GBP	0.79	0.79	-	-
USドル/EUR	0.89	0.90	+0.01	1.1%安
USドル/CHF	0.99	0.99	-	-
USドル/TWD	31.10	31.00	-0.10	0.3%高
USドル/TRY	5.80	5.70	-0.10	1.8%高
USドル/IRR	107,000	105,000	-2,000	1.9%高

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

<為替感応度>

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2019年調整後営業利益（修正見込）3,100百万ドル（算定ベース）

- ・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2019年修正前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2019年ドルベースAOPが50百万ドル強変動
- ・50百万ドル強の変動を構成する主な通貨および内訳
RUB 30%、GBP 15%、TWD 10%強、EUR 10%弱、IRR 10%弱、TRY 5%、CHF -10%
- ・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が31億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー (累計)

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率	
総販売数量	3,201	3,386	+185	+5.8%	億本
GFB販売数量	2,013	2,102	+90	+4.4%	億本
自社たばこ製品売上収益	9,532	9,416	-116	-1.2%	億円
調整後営業利益	3,369	2,965	-404	-12.0%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	8,695	8,632	-63	-0.7%	百万ドル
調整後営業利益	3,071	2,719	-352	-11.5%	百万ドル

為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益	8,695	9,471	+777	+8.9%	百万ドル
調整後営業利益	3,071	3,384	+313	+10.2%	百万ドル

・クラスター別構成比 (前年同期比)

(億本/百万ドル)

2019Q3	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	508	+2.9%	414	+3.5%	1,571	-0.8%
NCE	419	+4.5%	213	+18.1%	1,625	+0.9%
CIS+	992	-0.4%	687	-4.1%	2,097	-3.2%
RoW	1,467	+12.0%	787	+10.0%	3,338	+0.2%
Total	3,386		2,102		8,632	

2. クラスター/市場別 総販売数量 (前年同期比)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+3.8%	-0.6%	+5.5%		+2.9%
France	+0.5%	-0.8%	-0.3%		-0.2%
Italy	+1.1%	-0.1%	-3.0%		-0.7%
Spain	+2.4%	-1.7%	+23.8%		+7.6%
NCE	+5.1%	+2.9%	+5.6%		+4.5%
Germany	+12.2%	+0.8%	+5.6%		+5.8%
UK	-5.2%	-0.6%	+0.2%		-1.8%
CIS+	-1.9%	+7.9%	-6.5%		-0.4%
Romania	+0.6%	-0.9%	+6.1%		+2.1%
Russia*	+1.7%	+16.0%	-8.9%		+2.1%
RoW	+13.5%	+17.5%	+5.3%		+12.0%
Iran	+6.0%	+11.5%	+29.4%		+15.1%
Taiwan	+12.6%	+4.1%	-0.1%		+5.3%
Turkey	+9.5%	+28.3%	-8.7%		+8.5%
Total	+6.5%	+9.8%	+1.4%		+5.8%

* 2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

3. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	355	398	415		1168
	+1.7%	+2.6%	+4.4%		+3.0%
Camel	139	147	151		437
	+6.0%	+7.7%	+5.2%		+6.3%
MEVIUS	40	41	39		120
	+6.6%	+1.7%	-6.5%		+0.4%
LD	110	132	134		376
	+7.3%	+9.8%	+8.3%		+8.5%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+5.3%	-2.2%	+7.6%		+3.5%
France	+8.5%	-2.7%	+1.4%		+2.2%
Italy	-0.5%	-1.3%	-1.4%		-1.1%
Spain	+2.7%	-2.6%	+27.0%		+8.4%
NCE	+20.2%	+15.6%	+19.0%		+18.1%
Germany	+22.0%	+19.4%	+26.5%		+22.6%
UK	-23.6%	-24.2%	-23.8%		-23.9%
CIS+	-6.6%	-2.6%	-3.4%		-4.1%
Romania	-1.1%	-3.6%	+3.7%		-0.2%
Russia	-5.5%	-1.2%	-5.4%		-3.9%
RoW	+9.0%	+14.0%	+7.4%		+10.0%
Iran	+3.0%	+8.8%	+36.0%		+14.7%
Taiwan	+14.6%	+4.3%	-1.0%		+5.6%
Turkey	+11.8%	+33.2%	-8.4%		+10.7%
Total	+3.8%	+4.8%	+4.6%		+4.4%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2018 9月	2019 9月	増減	2018 Q3	2018 Q4	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3
France	22.8%	24.2%	+1.4%pt	23.5%	23.6%	24.3%	24.5%	24.5%
Italy	23.6%	24.4%	+0.8%pt	23.9%	24.2%	24.3%	24.4%	24.6%
Russia*	34.3%	39.1%	+4.9%pt	37.3%	38.8%	39.1%	39.6%	39.0%
Spain	24.5%	25.3%**	+0.8%pt	24.9%	25.2%	25.3%	25.5%	25.4%**
Taiwan	41.6%	44.6%	+3.0%pt	42.6%	43.5%	44.5%	45.0%	45.4%
Turkey	27.8%	28.4%	+0.6%pt	27.8%	27.7%	27.7%	30.3%	27.8%
UK	41.0%	43.0%	+2.0%pt	41.6%	42.0%	42.7%	43.4%	43.8%

Source: IRI, Nielsen, Logista, JTI推計 / 出典元の過去データ修正も反映しています。

* 12か月移動平均シェア、3ヶ月平均シェアのいずれも2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

** 2019年8月時点の、12か月移動平均および2か月平均を採用しております。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	551	550	562		1,663
	+6.0%	+1.5%	+7.5%		+5.0%
NCE	521	594	616		1,731
	+6.2%	+5.4%	+10.6%		+7.4%
CIS+	619	793	804		2,215
	-1.9%	+6.5%	+1.5%		+2.2%
RoW	1,250	1,311	1,303		3,863
	+15.3%	+15.8%	+16.5%		+15.9%
Total	2,940	3,247	3,284		9,471
	+7.9%	+8.9%	+9.9%		+8.9%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

・ドルベース						(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	2,724	2,981	2,990		8,695	
数量差	+64	+108	+9		+182	
価格差/Mix	+151	+158	+286		+595	
2019 為替一定	2,940	3,247	3,284		9,471	
FX	-338	-329	-173		-840	
2019	2,602	2,919	3,112		8,632	

・円ベース						(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	2,948	3,252	3,331		9,532	
Operations	+233	+291	+328		+852	
現地通貨 vs. 米ドル	-366	-359	-192		-917	
円 vs. 米ドル	+52	+23	-127		-51	
2019	2,868	3,207	3,341		9,416	

8. 要因別 調整後営業利益実績

・ドルベース						(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	890	1,082	1,100		3,071	
数量差	+34	+48	-10		+72	
価格差/Mix	+143	+146	+270		+559	
その他	-59	-129	-130		-318	
2019 為替一定	1,008	1,147	1,230		3,384	
FX	-199	-271	-195		-665	
2019	809	876	1,034		2,719	

・円ベース						(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	963	1,180	1,226		3,369	
Operations	+128	+71	+145		+343	
現地通貨 vs. 米ドル	-215	-296	-217		-728	
円 vs. 米ドル	+16	+7	-42		-19	
2019	892	962	1,111		2,965	

9. 実績為替レート (前年同期比)

	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2019 YTD
USD/RUB	66.12 14.0%安	64.56 4.3%安	64.57 1.5%高		65.08 5.6%安
USD/GBP	0.77 6.4%安	0.78 5.5%安	0.81 5.4%安		0.79 5.8%安
USD/EUR	0.88 7.5%安	0.89 5.8%安	0.90 4.4%安		0.89 5.9%安
USD/CHF	1.00 4.8%安	1.00 1.8%安	0.99 0.2%安		1.00 2.3%安
USD/TWD	30.82 4.9%安	31.10 4.3%安	31.18 1.7%安		31.03 3.6%安
USD/TRY	5.36 28.9%安	5.87 25.8%安	5.66 0.7%安		5.63 18.4%安
USD/IRR	88,454 47.3%安	104,688 58.6%安	113,748 37.0%安		102,297 47.3%安
USD/JPY	110.22 1.8%安	109.90 0.7%安	107.36 3.7%高		109.12 0.4%高

現地通貨 vs USD増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率：(各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2018 Q3	2019 Q3	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要（自社推計）	1,043	946	-97	-9.3%	億本
紙巻販売数量	642	574	-68	-10.5%	億本
紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2018Q3実績：31億本、2019Q3実績：31億本）およびRRP販売数量を含んでいません					
自社たばこ製品売上収益	4,444	4,358	-86	-1.9%	億円
調整後営業利益	1,728	1,654	-74	-4.3%	億円

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	195	208	238	178	820
2019	179	194	201		
前年同期比増減率	-8.2%	-6.8%	-15.7%		

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	5,895	5,938	5,912	6,355	6,011
2019	6,407	6,391	6,414		

千本当売上収益 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税（国税） - たばこ税（地方税） - たばこ特別税（国税）} / 販売数量 x 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019					
RRP販売数量	6	8	9		23
RRP関連売上収益	124	181	178		482

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2018	1,293	1,429	1,722		4,444
紙巻数量差	-95	-84	-221		-400
紙巻単価差	+92	+88	+101		+281
RRP/その他	+44	+56	-67		+34
2019	1,335	1,489	1,535		4,358
調整後営業利益					
2018	489	546	693		1,728
紙巻数量差	-79	-70	-182		-330
紙巻単価差	+92	+88	+101		+281
RRP/その他	+8	+18	-50		-25
2019	510	582	562		1,654

6. 紙巻シェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2018	61.2	61.2	62.1	60.9	61.4
2019	61.0	61.0	60.1		
MEVIUS					
2018	30.9	31.7	32.1	29.9	31.2
2019	30.3	30.6	30.3		
Winston					
2018	8.0	8.0	7.8	8.2	8.0
2019	7.8	7.8	7.4		
Seven Stars					
2018	7.8	7.9	8.2	7.6	7.9
2019	7.9	7.8	7.8		
Natural American Spirit					
2018	2.0	2.0	2.0	1.8	1.9
2019	1.9	1.9	2.0		

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2019年10月31日現在)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	備考
JTE-052 (delgocitinib)	アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	申請中 (国内)	自社品 鳥居薬品と共同開発 *小児: Phase3 (国内) 実施中
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)	自社品
JTZ-951 (enarodustat)	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	Phase3 (国内) Phase1 (海外)	自社品 鳥居薬品と共同開発
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2 (海外)	自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2 (海外)	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品
JTE-761	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (海外)	自社品
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	Phase3 (国内)	導入品 (Keryx Biopharmaceuticals社) 鳥居薬品と共同開発 効能追加として開発

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 オート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時 (2019年7月31日) からの変更点

<自社開発品>

- ・JTE-761 新規臨床入り(海外Phase1)

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラチャリング収益及び費用等
為替一定ベース 調整後営業利益 （全社）	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB （Global Flagship Brands）	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量 （海外たばこ事業）	水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek を含む
自社たばこ製品売上収益 （海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRP やリトルシガー等を含む。
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
紙巻販売数量 （国内たばこ事業）	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT 紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量 （国内たばこ事業）	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数（1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー （国内たばこ事業）	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益 （国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益 （国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上 （国内免税販売分の売上を含む）
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	有利子負債 2018 年 12 月末：短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債 + リース債務 2019 年 9 月末*：短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債 *2019 年度より、有利子負債からリース債務を除外
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除外 <ul style="list-style-type: none"> 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１） 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２） たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３） 国内外の訴訟の動向
- （４） 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５） 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６） 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- （７） 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８） 国内外の経済状況
- （９） 為替変動及び原材料費の変動
- （１０） 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門 2-2-1 JT ビル
03-5572-4292（代表）